

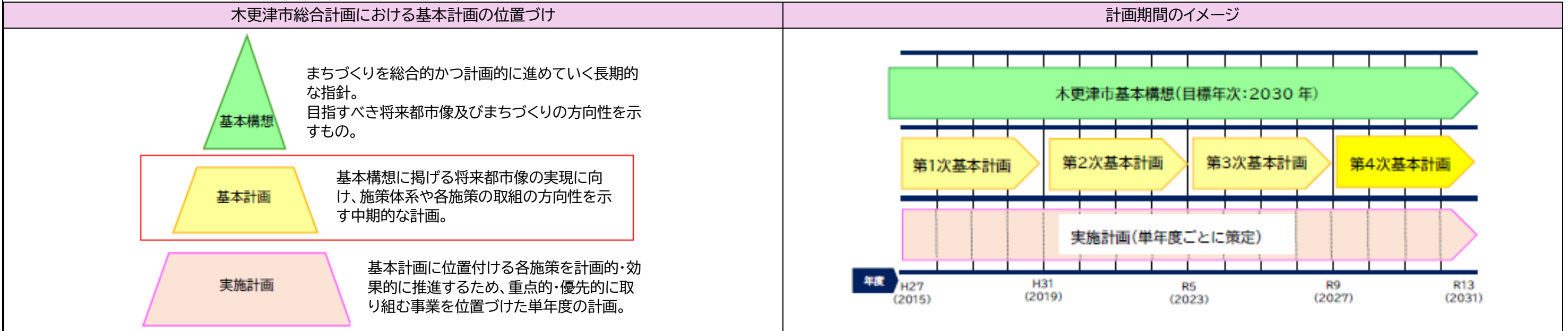
第1章 第4次基本計画策定にあたって

1-1 第4次基本計画の概要

(1)策定趣旨と位置づけ

木更津市基本構想に掲げる将来都市像「魅力あふれる 創造都市 きさらづ～東京湾岸の人とまちを結ぶ 躍動するまち～」の実現に向け、市民や多様な主体、行政が共有できるまちづくりの指針として策定。

第4次基本計画は木更津市基本構想(目標年次:令和12年(2030年))の最終の基本計画となる。(計画期間:令和9年度(2027年度)～令和12年度(2030年度))



(2)ロジックモデルを採用した計画づくり

基本構想に位置付ける将来都市像の実現に向け、施策の実効性をさらに高めるため、ロジックモデルにより事業目的の明確化や事業効果の検証を行う。

(3)市民との対話に基づく計画づくり

多様な手法で市民から地域課題やまちづくりのアイデアを収集。第2章「施策別計画」でその「声」を紹介。

(4)人口の現状と今後の見込み

木更津市基本構想における将来人口14万人の見込みを維持。

(5)計画の進行管理

「PDCA サイクル」に基づく進行管理を実施し、各施策・事業等の取組内容について検証・見直しを行うことで、計画の実効性を高め、効果的・効率的に推進。

1-2 計画策定の背景

(1)国内の社会情勢の動向:本市に影響を及ぼすと考えられる国や地域の社会経済情勢の動向

(2)木更津市の現状と課題:本市の「強み」と「弱み」及び時代の潮流を踏まえた課題

1-3 持続可能なまちづくりの推進に向けた基本的視点

●まちづくりの基盤

オーガニックなまちづくりの推進:「自立」「循環」「共生」の視点で未来につながるまちをめざす。第2章「施策別計画」で市民や事業者等が取り組めるアクション例を提示。

●まちづくりのための横断的戦略

(1)DX を取り入れた行政サービスの変革:DX 導入による市民サービスの質の向上及び業務効率化を基本計画の施策全般に共通する、次代へ向けた重要な視点として捉える。

(2)ゼロカーボンシティの実現に向けた取組:市として責任をもって対策を講じるとともに、市民一人ひとりがカーボンニュートラルを意識した行動に取り組む必要があることを踏まえる。

●まちづくりの目標

(1)ウェルビーイングの高いまちの実現:市民一人ひとりが、身体的・精神的・社会的に満たされ、幸せを実感しながら暮らせる「ウェルビーイングの高いまち」を実現。

(2)SDGsの達成に向けたまちづくりの推進:多様な主体が一体となり、「オーガニックなまちづくり」を推進することで、SDGsの達成に貢献する。第2章「施策別計画」でSDGsの達成に向けた取組を示す。

1-4 重点プロジェクト

(1)きさらづ地域循環共生圏創造プロジェクト

(2)中心市街地活性化プロジェクト

(3)次世代育成と生涯活躍のまち創造プロジェクト

第2章 第4次基本計画 施策別計画

基本方向	基本政策	No.	施策名	主な取組
(1)安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	1)保健・医療の充実	1	保健の充実	①健康づくりの推進 ②生活習慣病の発症・重症化予防
		2	医療の充実	①医療サービスの充実と基盤強化
	2)社会福祉の充実	3	地域福祉の推進	①地域福祉活動の推進 ②生活の安定と援護 ③バリアフリーの推進
		4	高齢者支援の充実	①高齢者への包括的支援 ②高齢者の社会参加の促進 ③介護予防の推進 ④介護保険サービスの充実と適正な給付
		5	障がい者支援の充実	①障がい者への理解促進と相談支援の充実 ②社会参加の促進 ③生活自立の支援
	3)防災・消防体制の充実	6	災害に強いまちづくりの推進	①防災対策の強化 ②災害に強い基盤づくり ③防災意識の向上 ④災害発生時の迅速な対応
		7	消防・救急救助体制の充実	①消防力の整備充実 ②救急救助体制の強化 ③火災予防体制の充実強化 ④消防団の充実強化
	4)生活安全の充実	8	防犯体制の充実	①防犯対策の推進
		9	交通安全対策の充実	①交通環境の整備 ②交通安全の推進と意識の向上
		10	消費者支援の充実	①消費者の自立支援
(2)子どもを育む環境づくり	1)子育て支援の充実	11	子育て支援の充実	①結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 ②保育・幼児教育の充実 ③こどもの権利擁護と多様な養育環境への支援 ④児童虐待・DV等の予防及び対策 ⑤こどもの発達支援の充実
	2)学校教育の充実	12	学校教育の充実	①教育内容の充実 ②教育環境の整備 ③特別支援教育の推進 ④生徒指導等の充実 ⑤開かれた学校づくりの推進
	3)青少年の健全育成	13	青少年の健全育形成	①青少年を育てる地域の教育力の向上 ②青少年育成事業の推進 ③青少年を取り巻く環境浄化と非行防止
(3)まちを支える人づくり	1)社会教育の推進	14	社会教育の充実	①生涯学習・社会教育推進体制の充実 ②生涯学習・社会教育活動の充実 ③図書館サービスの充実
	2)スポーツ・レクリエーションの振興	15	スポーツ・レクリエーションの振興	①スポーツ・レクリエーション活動の推進 ②スポーツ・レクリエーション環境の整備
	3)市民文化の充実	16	市民文化の充実	①文化芸術活動の推進 ②ふるさと文化の継承
	4)人権擁護・男女共同参画の推進	17	人権擁護の推進	①人権意識の醸成
		18	男女共同参画の推進	①男女共同参画の意識づくり ②女性活躍推進の体制づくり

(4)まちのにぎわい・活力づくり	1)企業誘致の推進	19	企業誘致の推進	①企業誘致の推進 ②新たな産業用地の創出
	2)産業の振興	20	農業の振興	①農村環境の整備 ②地域農業経営体の育成 ③高品質高付加価値農産物の生産拡大 ④都市と農村の交流促進 ⑤有機農業の推進
		21	林業の振興	①林業の促進 ②人と森林の共生
		22	水産業の振興	①漁業振興の推進 ②漁業生産基盤の整備 ③観光漁業の推進
		23	商工業の振興	①中小企業の支援と創業・開業の促進 ②商業の活性化 ③工業の活性化 ④卸売市場の再整備と活性化
		24	勤労者支援の充実	①就業支援の充実 ②誰もが働きやすい就労環境づくり
	3)観光の振興	25	観光の振興	①観光誘客の推進 ②観光地域づくりの推進 ③国際会議等の MICE 誘致 ④里山リトリートの推進
	4)広域交流・国際交流の推進	26	広域交流の推進	①東京湾アクアラインを活用した地域づくりの推進 ②みなとまち木更津の再生 ③新たな交通インフラの活用 ④木更津金田バスターミナル「チバスタアクア金田」の利便性向上 ⑤道の駅「木更津・うまくたの里」の活用
		27	国際交流の推進	①国際交流活動の推進 ②多文化共生の推進
	1)土地利用の適正化	28	土地利用の適正化	①計画的土地利用の実現 ②土地の有効利用の促進
(5)まちの快適・うるおい空間づくり	2)都市環境の充実	29	市街地整備の充実	①市街地の整備
		30	公園・緑地の充実	①公園の整備と緑化の推進
		31	住環境の整備	①住環境の向上 ②市営住宅の管理
		32	良好な景観形成の推進	①良好な景観形成の誘導
	3)交通環境の充実	33	交通体系の充実	①道路環境の整備 ②公共交通の充実
		34	湾港機能の充実	①港湾環境の整備 ②港湾の活用
	4)生活環境の充実	35	上水道の充実	①安定した水道水の供給と経営基盤の強化
		36	下水道等の整備	①下水道施設の整備・適切な管理 ②都市下水路の適切な管理 ③排水路の整備及び維持管理
		37	資源循環の推進	①ごみの排出抑制と再資源化の推進 ②廃棄物の適正処理
		38	生活衛生の向上	①公衆衛生対策の充実 ②火葬場や霊園の整備、維持管理 ③し尿の適正処理
	5)自然環境の保護・環境の保全	39	地球温暖化対策の推進	①地球温暖化対策の推進
		40	環境の保全	①環境・発生源の監視 ②環境美化対策の推進 ③自然環境の保全

(6) 構想の実現に向けて	1)市民参加の推進・情報発信力の強化	41 市民参加の推進	①市民参加の拡大 ②市民との情報共有の推進
		42 魅力発信力の強化	①木更津の魅力発信
		43 移住・定住の推進	①移住・定住相談の充実 ②移住・定住情報発信の強化
	2)協働の推進	44 オーガニックなまちづくりの推進	①オーガニックなまちづくりの普及啓発 ②地域循環共生圏の創造 ③公民連携によるまちづくりの推進
		45 協働によるまちづくりの推進	①地域自治の推進 ②市民活動に対する支援の充実
	3)質の高い行財政運営の推進	46 質の高い行財政運営の推進	①行政改革の推進 ②健全な財政基盤の確立 ③組織・人材マネジメントの推進 ④公共施設等の総合的な管理の推進
	4)広域行政の推進	47 広域行政の推進	①広域連携の推進
	5)ICT活用の推進	48 行政 DX の推進	①地域のイノベーションの実現によるまちの活性化 ②行政のイノベーションによる業務効率化の推進

第3章 第4期まち・ひと・しごと創生総合戦略

3-1 策定の趣旨

「第4期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、まち・ひと・しごと創生法 第10条の規定に基づく「地方版総合戦略」として策定するもの。

本市が持続可能な地域社会を維持するため、若い世代への切れ目のない結婚・出産・子育て支援を行うとともに、地域産業の活性化・雇用創出・移住定住の促進・関係人口の拡大等など、魅力あるまちづくりを一体的に推進することで地方創生の深化・加速化を図る。

3-2 「地方創生 2.0 基本構想」の目指す姿

国が令和7年6月に策定した「地方創生 2.0 基本構想」では、地方を日本の成長の主役と位置づけ、稼ぐ力の強化や人・企業の地方分散、AI・デジタルの活用などを柱としている。

強い経済	豊かな生活環境	新しい日本・楽しい日本
自律的・持続的な「稼げる」地方経済	日常生活に不安や不自由がなく、安心して暮らせる地方	若者や女性にも選ばれる地方 誰もが安心して暮らせて、一人一人が幸せを実現できる地方

3-3 策定にあたっての視点

- ① 基本計画との一体化
- ② 国・県の動向の勘案
- ③ 社会潮流の変化への適応と DX・GX の推進

3-4 基本目標及び基本的方向

基本目標	基本的方向
1. 選ばれる「子育てのまち」の発展と、次世代を育む環境の充実	1)結婚・出産・子育ての切れ目のない支援 2)働きながら産み育てやすい環境づくり 3)「木更津っ子」を育む教育の充実
2. 活力ある地域経済の維持と、多様で良質な雇用の創出	1)農林水産業の成長産業化への支援 2)産業・創業及び地域産業の持続的成長に対する支援 3)企業誘致の推進 4)観光産業の競争力強化 5)安定した雇用の確保
3. 新しい人の流れをつくる移住・定住促進と関係人口の拡大	1)多様なライフスタイルがかなう定住の推進 2)快適で暮らしやすいコンパクトなまちの形成 3)木更津の様々な魅力の情報発信の強化 4)アクアライン等を活かした交流人口の創出 5)多様な地域資源を活かした関係人口の創出
4. 利便性と安心を実感できる持続可能な都市基盤の構築	1)市民力・地域力による自立した地域づくり 2)生物多様性を育む自然との共生 3)生涯を通じて健康で生き生きと暮らせる地域づくり 4)ふるさと木更津づくり 5)安心で暮らしやすい防災都市づくり 6)多様な主体との連携推進 7)DX 推進による住みよいまちづくり

資料編

- 1 木更津市基本構想
- 2 木更津市総合計画第4次基本計画及び第4期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定方針
- 3 策定の経過
- 4 木更津市総合計画審議会
- 5 木更津市総合計画策定会議
- 6 市民アンケート概要
- 7 タウンミーティング概要
- 8 きさらづみなトーク概要
- 9 木更津市のすがた
- 10 用語解説